

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-140451

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内登録番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)9月4日

G 01 H 29/04
A 61 B 8/00
H 04 R 17/00

330

B-6752-2G
7437-4C
H-6824-5D

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 超音波探触子

⑯ 実 願 昭61-27183

⑰ 出 願 昭61(1986)2月26日

⑱ 考 案 者	渡 辺	一 宏	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑲ 考 案 者	松 本	一 宏	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑳ 考 案 者	杉 山	雄 一	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
㉑ 出 願 人	富士通株式会社			
㉒ 代 理 人	弁護士 青 柳 稔			

⑳ 実用新案登録請求の範囲

圧電振動子の端部に段差を形成し、この圧電振動子の上面から上記段差部の下面にかけて上面電極を形成し、また上記圧電振動子の下面に下面電極を形成し、

上記上面電極の段差部に、絶縁材の表、裏面に配線を施したフレキシブル基板の端部を挿入して、該表面の配線を上面電極の段差部下面部分にまた該裏面の配線を上記下面電極に接続したこと

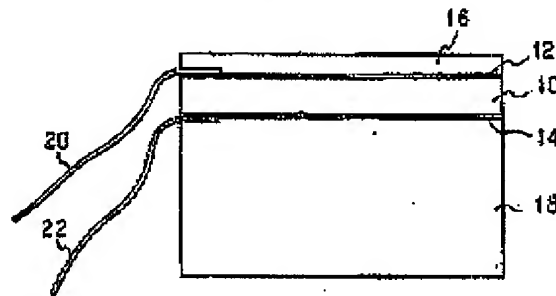
を特徴とする超音波探触子。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の説明図、第2図は従来例の説明図である。

図面で10は圧電振動子、10aは段差部、12は上面電極、14は下面電極、30はフレキシブル基板、36はその絶縁材、32はアース用リード線、34は信号用リード線である。

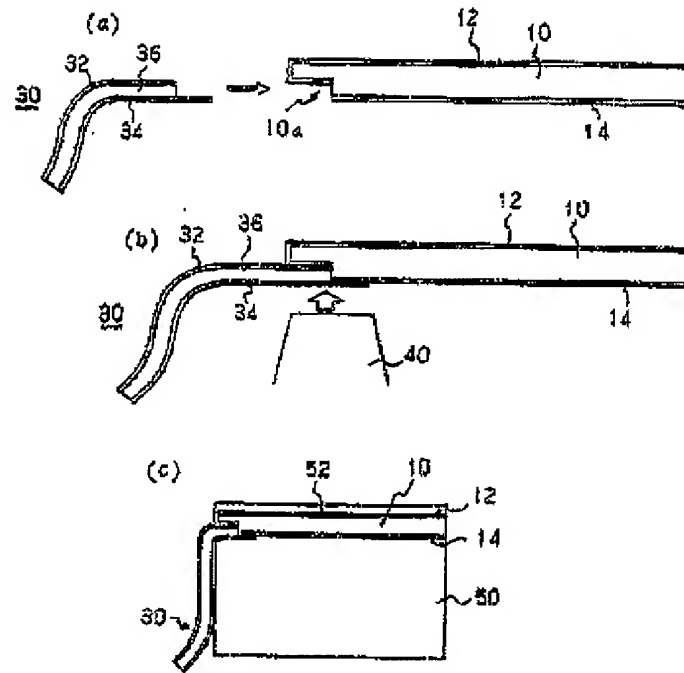
第2図



従来例の説明図

実開 昭62-140451(2)

第1図



本発明の説明図